駅前・人口密集地に巨大データセンター

社会リポート

人工知能（AI）の情報処理を行うデータセンター（DC）の無秩序な建設が日本各地で問題になっています。千葉県印西市では駅前一等地に高さ52・7㍍の巨大DC建設が計画され、住民が猛反発しています。国による法規制を求めています。（芦川章子）

千葉・印西

計画に住民反発 法規制求める

印西市の北総線・千葉ニュータウン中央駅前。大型ショッピングモールやマンションのすぐ隣でDCが計画されています。

同市に住んで30年という女性（74）は「こんな街の中心地に建てるなんて誰が考えてもおかしい。あり得ない」。昨春、予定地の掲示板で初めて計画を知ったといい「何が建つかと楽しみにしていたから、市民はみんな、びっくりした」とあぜんとします。

近くに学校など

計画中のDCは延べ床面積約3万平方㍍。隣接する15階建てのマンションより高くなります。地下に約120万㍑の重油の備蓄計画もあります。人口密集地で近くには小学校や中学校、保育園もあります。

市民が計画を知ったのは昨年4月。「タウンセンター地区の活用について考える会」の武田淳一代表は「駅周辺は街の顔。住環境を脅かすだけでなく、多くの悪影響をもたらす」と話します。4月に会を結成し、10月には計画撤回を求める署名を市長へ提出。署名数は人口の1割、1万3256人分に上ります。

事業者は三井物産の子会社などが出資する「印西ファイブ特定目的会社」（東京都千代田区）で、別会社が運営します。予定地は都市再生機構（UR）の孫会社千葉ニュータウンセンターが売却した土地で、元イオンモールの駐車場です。隣接地にマンションが建つことを知りながら、利益優先で売却したもので、千葉県、印西市も黙認していました。

予定地は「商業地域」です。DCは法的には「事務所」扱いで、建築基準法では規制できないことも問題視されています。市長が昨年末、計画容認に転じたことについて武田代表は「駅前の人口密集地でも市民の安全を脅かす施設を建てられるという、あしき前例ができてしまう。次に苦しむ人たちを生まないためにも、ここ（印西市）で止める覚悟です。諦めません」と語気を強めます。

計画撤回を求める日本共産党の山田喜代子市議は「環境評価に必要な情報はことごとく公開せず、住民への説明もないに等しい」と、事業者と市の姿勢を批判します。

DCは生成AIの普及などを背景に急拡大しています。近年、住宅隣接地での都市型DC建設は、千葉県白井市、東京都昭島市、日野市、小平市、江東区、さいたま市などでも問題に。千葉県流山市では住民の反対運動によって建設を中止に追い込みました。

窓のない巨大な建物の影響は、景観、日陰、ビル風だけではありません。

温暖化の加速も

DCは通常、24時間、365日稼働します。熱を発するサーバーを冷やすため、空調など多くの冷却装置を必要とします。膨大な電力を使用し、CO_2（二酸化炭素）を排出します。排熱による周辺の気温上昇は数度に上るという試算もあり、温暖化を加速させると指摘されています。

火災も世界各地で起きています。2018年には東京都多摩市で完成間近のDC約5000平方㍍が延焼し、死者5人、負傷者42人を出す大火災が発生。鎮火には9時間を要しました。重大な危険性があるとして住宅隣接地での立地規制を新設した国もあります。

巨大DC建設の予定地＝千葉県印西市

早急に見直しが必要

さいとう和子・日本共産党衆院南関東ブロック比例代表候補の話

AIの普及などによる巨大DC建設に法律が追いついていません。非常用電源用に120万㍑の重油を貯蔵するといいますが、印西市によれば10万～100万㍑の重油を貯蔵する施設は40あり、うちDCは37です。100万㍑以上は三つあり全てDCです。外資も絡んだ事業者は、住民への説明を窓口会社に任せ、まともな説明もしないまま建設に突き進もうとしています。住民の意見や街づくり、環境を無視したDC建設は早急に見直しが必要です。

党ポスターに悪質な落書き

仙台 器物損壊で県警に被害届

落書きされたポスター＝仙台市青葉区（党宮城県委員会提供）

仙台市内で日本共産党の政党ポスターへの落書き被害が相次いでおり、解散・総選挙を前に民主主義の根幹を揺るがす問題になっています。

党宮城県委員会によると、被害は2024年7月～25年12月末ごろの長期間にわたり、仙台市泉区長命ケ丘の泉病院近くをはじめ、市内5区で断続的に発生。黒スプレーでポスター全体に「×」「売国奴」などと書くもので、これまで30カ所、70枚以上にも及んでいます。

党県委員会と仙台東、西の両地区委員会はこれまで複数回、警察へ被害届を提出。宮城県警は器物損壊事件として調べています。

党県委員会の佐藤克之書記長は、「政治への不満を背景にした右傾化の動きのもと、先鋭化している危険性の表れであり、それが民主主義を害することはあってはなりません。こういう暴力的な妨害行為は断固許さない立場で、今後も臨んでいきます」と話しています。

仙台市内では他にも、投石で党事務所のガラスが割られる被害などが何度も起きています。

まんまる団地 オダシゲ〈17824〉

女流棋士出産規定

日本将棋連盟が陳謝

日本将棋連盟（清水市代会長）は23日、「女流棋士の番勝負対局規定」について東京将棋会館で記者会見をひらきました。

会見では、16日に「女流棋士の番勝負対局規定検討委員会」を発足し、（1）妊娠・出産期における出場・交代の基準、（2）調整をおこなう場合の考慮要件、（3）調整不能等により出場が困難になった場合の代替措置・補償について諮問したことを説明。3月に中間答申、4月末日までに最終答申を得て、連盟としてスポンサー各社とも相談して規定を定め運用していくと説明しました。

会見では、今回の問題の反省点として、女流棋士への説明の方法に問題があり、〝妊娠・健康事情がある場合、機械的にタイトル戦に参加できなくなる〟との誤解を招いた、規定の施行・周知についても合意形成や情報共有の手順が十分でなかった、として陳謝しました。そして、妊娠・健康上の特別な事情がある場合には、対局日の変更等を含め、可能な限り調整をおこなうと規定上明記したとしました。

この問題は、日本将棋連盟が昨年4月1日に施行した女流棋士公式戦番勝負対局規定で、妊娠・出産期の対局者への対応について、〝出産予定日を基準とした産前6週間、産後8週間と番勝負の日程が一部でも重複する場合、対局者の変更をおこなう〟と規定したことが発端です。

これにたいし、女流八大タイトルのうち現在六冠を保有し、昨年12月に長男を出産した福間香奈六冠が「第2子を持つことは無理だと絶望的な気持ちになった」と、規定の廃止と抜本的な改善を要望する記者会見を昨年12月10日に開きました。

これを受けて連盟は問題の条項を直ちに削除。こうした問題を検討する「検討委員会」を1月にたちあげ、4月までに答申を得ると発表していました。

投票の判断材料提供を

京都メディアの会 報道各社に要請

通常国会冒頭解散となったことを受け、「NHK・メディアを考える京都の会」は23日、新聞・テレビ各社に対し、有権者が判断するための材料を提供する報道をするよう緊急申し入れを行いました。

今回、国会審議を通しての各党の政治姿勢や政策を明らかにすることなく、投票日まで16日間という、有権者に考える時間を与えない超短期間での選挙となったことを指摘。次の4点を要望しました。

▽選挙期間中こそ高市政権への監視を強め、なぜ急ぎ解散し、国民に何を隠そうとしているのか具体的に調査報道すること。とくに「政治とカネ」の問題など国民の関心に応える報道をすること。

▽争点を明らかにし、各党・候補者の政策の違いをわかりやすく提示する。とくに物価対策、消費税減税の財源、憲法改正、防衛費増大など各党の違いが鮮明になるようにする。

▽ネット上での情報について、事実確認＝ファクトチェックを行い報じる。

▽討論会をゴールデンタイムなどに積極的に取り組み報道する。

全員の賃上げへスト

日本マイクロフィルター工業分会

静岡

強風のなか、「ストライキ決行中」と掲げた横断幕を広げてアピールする組合員たち＝23日、静岡県御前崎市

物価上昇に見合った賃上げなどを求めて23日、静岡県御前崎市にある日本マイクロフィルター浜岡工場でローカルユニオン静岡・日本マイクロフィルター工業分会がストライキを決行しました。組合員らは「ストを力に、賃上げや職場環境の改善を勝ち取りたい」とアピールしました。

自動車用のマイクロフィルターを製造している同社は、毎年1月が昇級時期です。組合が同業他社と比べてもかなり低い賃金であることを指摘し、大幅賃上げを求めて団体交渉を続けてきました。会社側は「月給者には平均5000円、時給者には最低賃金に見合った金額」と回答。スト回避条件も告げましたが前進はなく、組合は時限・指名ストを決行しました。

分会長の小野田延浜（のぶひろ）さん（52）は「組合を結成して約4年になります。会社と団交を続けてきたが、前向きな回答が得られません。初めてストを決行します。ここからが始まりです。みんなで頑張ろう」と語りました。

浜岡工場には、非正規雇用も含めて約60人が勤務していると言います。小野田さんは「劣悪な職場環境のもとで、労働者が次つぎと組合へ自主的に加入しています」と言います。スト決行集会にも、同分会の組合員13人が参加しました。

ローカルユニオン静岡の河合利夫委員長は「ストを力に、この工場で働く人たち全員の賃上げを実現したい」と力を込めました。

ストには、静岡県評などが支援に駆けつけました。

能登地震

医療費免除再開を

社保協が県に署名提出

石川県社会保障推進協議会は県庁を訪れ、馳浩知事宛てに、能登半島地震被災者の医療費と介護利用料の免除再開を求める署名を22日に提出しました。松浦健伸代表委員らが参加し、日本共産党の佐藤正幸県議が同席しました。

松浦氏は「被災者は経済的困難を抱え、受診を控えたり、そのことで悩んだりしています。免除再開を実現してほしい」と述べました。

石川県羽咋市の仮設住宅に入居する西沢雅子さんは「手術のあとも通院でお金がかかります。困っている友人にもう一度免除再開を実現させようと声をかけ署名を集めました」と話しました。

県健康福祉部の塗師亜紀子部長らが対応し「市町から免除再開の相談があれば応じたい」と述べました。

署名は、免除再開のために、市町への国と県の財政支援を求めています。県社保協や石川県民主医療機関連合会（民医連）などが、被災者が入居する仮設住宅などを訪問し集めたほか、全日本民医連や全国労働組合総連合などの協力をえて、4万9327人から集まり、オンラインや団体署名を含め5万434筆を提出しました。

県内市町の国民健康保険と県後期高齢者医療広域連合は、財政負担などを理由に昨年6月で被災者の医療費と介護利用料の免除を打ち切りました。

■六ケ所ウラン工場で異常

日本原燃は24日、六ケ所ウラン濃縮工場（青森県）で異常が発生し、一部設備の生産運転を停止したと発表しました。日本原燃によると、同日午前5時54分に異常警報が発生、午前7時57分に遠心分離機の異常と判断し、午前8時1分に一部設備の運転を停止しました。原因は調査中としています。

風くるま

茶せんの産地として知られる奈良県生駒市の高山町で、材料の竹の「寒干し」が最盛期を迎えています。

▽…切りそろえた約50本を円すい状に組み（写真＝小型無人機で撮影）、冷たい風と日光に1カ月ほど当てて乾燥させた後、2、3年寝かせて製品に加工します。

▽…老舗の「竹茗堂左文」では3月までに約1万5千本を干すという、24代目堂主の久保左文さん（81）は「茶せんは海外での需要も高まっているので、良い竹が入ってきてほしい」と話しました。

◀日本共産党公式SNS
■定価（税込み・送料別） 日刊紙：月3497円（本体価格3238円）1部売り130円 日曜版：月 990円（本体価格 917円）1部売り250円
赤旗編集局 ファクス 03(3350)1904 メール hensyukoe@jcp.or.jp
■購読申込先 日本共産党中央委員会 電話 03(3403)6111(代) ファクス 03(5474)8358 またはWebから▶

研究生募集!!
さあ!! 『絵を描こう』
踏みだせば何かが変わる

<御茶ノ水のアトリエ>
▶油絵を中心とした週2日・週1日のコース
▶デッサンを中心としたコース
▶初心者入門コース
▶水彩コース
▶日本画コース
<かつびアトリエ>
▶立体造形のコース
<全国どこからでも受講できる>
▶通信コース（絵画作品の添削を中心に）
多様なコース・時間帯を設定しています。自分に合ったコースを見つけてください。詳細は、資料請求して検討ください。
自由創作コース 時間をかけてひとつの作品に取り組む
美術研究所
日本美術会附属研究所・民美 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター・全労連会館9F
TEL 03-5842-5665 FAX 03-5842-5666 https://www.mimbi.info
ホームページはこちらの

一緒に宣伝をつくりませんか？
宣伝・広報の課題でお悩みの皆さまをしっかりとトータルにサポートします。
いつも同じ宣伝になってしまう…
SNSで効果的な宣伝をしたい…
価格が分かりづらい…
そんなお悩みを持つ皆さまへ。
70年のノウハウと専門性を活かし、宣伝物の製造、流通、広告、広報、運用等を専門スタッフがご提案します。
株式会社 光陽メディア
TEL 03-3260-9131

環境に配慮し、高齢者にやさしい住まいづくり
住宅の新築からリフォームまで、建築のあらゆる要望に応えます
新協建設工業株式会社
http://www.shinkyo-ken.co.jp
東京都台東区台東2-25-10
TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450